

様式1 令和4年度 山梨県立山梨高等学校定時制評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	1 基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、自ら学ぶ力の育成を目指します。 2 基本的な生活習慣の確立を図り、学業と仕事を両立させることのできる生徒の育成を目指します。 3 自他を思う豊かな人間性と社会性を培い、協働して物事に対応できる心身ともに健やかな生徒の育成を目指します。 4 望ましいキャリア観を育み、適性と希望に応じた進路実現を目指します。 5 保護者及び地域や勤務先から信頼される学校づくりを目指します。
-----------	---

山梨県立山梨高等学校校長 逆瀬川慶浩

本年度の重点目標	1 知る喜びや学ぶ楽しさにつながる、わかる授業を実践し、基礎・基本の定着を図ります。 2 基本的な生活習慣と社会性を身につけ、家庭・地域社会と連携し、将来自立できるスキルの習得を目指した指導に取り組みます。 3 さまざまな学校行事を通して豊かな心の育成に努めるとともに、安心して楽しく学べる学習環境づくりを行います。 4 企業及び上級学校の見学や各種講演会を通してキャリア観を育み、一人ひとりの適性に応じた進路実現を図ります。 5 ホームページや学校通信等を活用し、学校の教育活動について情報提供を行います。
----------	--

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

本年度の重点目標			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	知る喜びや学ぶ楽しさにつながる授業を実践し、基礎基本の定着を図る。	家庭学習を習慣化させるための授業の展開。	生徒の学習課題提出状況、アンケート
		授業改善につなげるための生徒向け授業アンケートの実施。	授業アンケート
		国語・数学・英語で実施している少人数授業やティームティーチングの成果の検証。	授業アンケート・生徒アンケート
2	挨拶の励行、時間を守る、掃除をしつかりする等の社会性を意識した生活習慣や意識の確立を目指した指導に取り組む。	基本的な生活習慣確立のための、遅刻・欠席等への積極的な指導	三者懇談・生徒アンケート
		挨拶や清掃等に取り組む教師の率先垂範による、生徒の意識を向上させる指導。	生徒アンケート
		いじめアンケートの定期的な実施と、細やかな観察と指導による「いじめ」根絶への対応。	いじめアンケート
3	さまざまな学校行事を通して豊かな心の育成に努めるとともに、安心して楽しく学べる学習環境づくりを行う。	生活体験文作成及び発表会や各種体験活動とおして、自己をふり返る機会を設けたり、豊かな感性や心の醸成に努める指導。	生徒感想文・生徒アンケート
		生徒会行事などを通して、コミュニケーション力や豊かな心を育む指導。	生徒感想文・生徒アンケート
		地域や専門家といった外部人材を積極的に活用し、教員の働き方改革につなげる。	教員アンケート
4	企業及び上級学校見学や各種講演会を通してキャリア観を育み、一人ひとりの適性に応じた進路実現を図る。	キャリア見学会、キャリア体験事業、キャリア講演会等の実施によりキャリア意識を高める。	生徒感想文・生徒アンケート
		進路講話や個人面談による生徒個々の進路希望に沿った進路情報の提供。	学年に応じた進路情報の提供
		進学・就職希望者に対する作文・面接指導の実施。	作文・面接指導の実施
5	HPや学校通信を活用し、本校に対する保護者や地域の理解を深める取組を実施する。	HPや学校通信による情報発信。	生徒及び保護者アンケート
		保護者の来校機会を増やすための公開授業や公開行事等の実施。	保護者アンケート

年度末評価(1月19日現在)		
自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
授業で他者の意見をよく聞き、ノートをとることができた生徒は90%を超え、目標を意識して授業を受ける様子が窺える。一方で、PCを忘れたりバッテリー切れで授業で使えなかったりする生徒もあった。生徒一人ひとりが主体的な活動の場として学び発信力も育つように、文章や言葉として表現できるようにICTを活用していきたい。	B	家庭学習の習慣ができていない生徒が少ないので、中央高校通信制との併修も含め、家庭において積極的に学習し、勤労と両立するよう、授業を通して指導を進める必要がある。ティームティーチングや合理的配慮による加配授業により、生徒には十分な指導の機会が与えられている。
遅刻・欠席が多いと自覚的な生徒がいる。健康の保持増進と生活習慣の確立、また欠席連絡を含む家庭との連携をもって遅刻・欠席を少なくする指導を継続して行っていく必要がある。「いじめ」根絶への対応は引き続き高い評価を得ているが、相互に尊重し支えあう人間関係の醸成に努めたい。	B	多くの生徒がアルバイトをしており、勤務時間帯は様々で登校前に仮眠をとってくる生徒もいる。家庭との連携、協力を強化し、勤労と合わせて学習が深まるような学校生活を送れるよう、家庭とともに指導を継続していく必要がある。また挨拶は自分から進んでするよう、教師から模範を示したい。
本校に入学してくる生徒は、中学校時代に不登校だった経験を持つ生徒が多く、集団で行動することが苦手だったり、外部とのつながりを結ぶことができなかったりして心に課題を持っている。そのため、学校行事など全年次で一緒に体験を重視して行っている。体験を中心とした行事は、生徒からも高く評価されている。	A	普段は消極的な生徒も、体験型の行事であること積極的に活動する。特に異年齢集団で少人数で活動する場合、生徒に役割分担を与えること主体的に取り組み、責任感や使命感を持ちながら全うしようとし、社会性や主体性、自主性を育てることができ、効果が大きいので今後も取り組んでいきたい。
キャリア教育については、見学会、講演会、体験的な内容など、さまざまに計画して実践している。企業や上級学校見学会は生徒の関心も高く、担当してくださる方も心得た説明をしてくださって、生徒が人生を主体的に選択し計画する参考となった。また、面接、小論指導など、教員が立場に応じて細かく指導を重ねることができた。	A	書くことや意見を表明すること、さらには意見を持つことにも苦手意識を持つ生徒がいる。そのため、行事ごとに体験した内容や感想を表現し、相互に認識するよう指導を重ねていく。進路対策ともなり、主体的に人生をとらえ、活動していけるようにキャリア教育をますます充実させていく必要がある。
情報発信の手段として、ホームページと学校通信の2本立てで行っている。保護者に直接メールで添付して送ることを通して、家庭での会話、話題となるよう、積極的に展開していきたい。	A	なるべく静止画像による情報を多くし、ビジュアル的に充実した、生徒の学校での体験が想像させられ、イメージがつかめるよう、工夫をして紙面構成に心がけている。

実施日(令和5年2月16日)	
評価	意見・要望等
4	学校アンケートに保護者の回答率が高く、学校への関心の高さがうかがわれる。アンケートから得た意見を学校運営に役立たせ、教育目標や重点的な取り組みを確実に進めていってほしい。特に生徒の自主性も大事だが、学ぶことの基本を理解させる必要がある。
3	生徒は落ち着いた高校生活を送りながら、自らの進路を進みつつあるようである。進路に対する細かいケアをするなど、一層の支援をお願いしたい。清掃やあいさつなどで周囲に気を配れる人となるよう、育ててほしい。
4	基本的な生活習慣を身につけ、いじめのない、相互に認め合う学校づくりをお願いしたい。心にある生徒の課題を、徐々にでも克服したり、乗り越えられるよう、様々な行事を通じて豊かな心に育て上げてほしい。
4	様々な体験を通して、生徒がキャリアを積み、就業に向けて意欲を持って努力するよう、指導を行ってほしい。地域へのボランティア活動も主体的に行っていくかどうか。
3	学校外での活動を地域に発信し、地域から信頼され、地域とともに歩んでいく学校づくりを進めてほしい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。